平 成 25 年 度

事 業 報 告 書

自　　平成２５年　４月　１日

至　　平成２６年　３月３１日

公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター

**◆公益財団法人釜石・大槌地域産業育成センター**

**平成25年度事業活動報告**

　平成25年5月に従前地での開所式以降、新たに入居した岩手大学ものづくり釜石サテライト、北里大学感染制御研究機構釜石研究所、岩手県立大学地域連携本部との協力体制を整備し、従来からの行政、支援機関・団体等との連携も強化しながら、文字通り産学官一体となって、産業再生に資する企業それぞれの課題解決の支援を行った。

**１　産業育成支援事業（プロパー事業）**

**（１）研究開発・事業化支援**

　　後述の「新しい東北先導モデル事業」とリンクし、新製品研究会のメンバーを中心にコバルト合金による宝剣の製品化、林業用アタッチメントの試作を行った。

　　また、北里大学感染制御研究機構釜石研究所と連携し、「釜石はまゆりプロジェクト」を立ち上げ、はまゆりから採取した酵母を活用した食品の試作を行った。

**（２）情報提供関連**

　　ドコモの助成金を活用し、ホームページを一新した。

　　ホームページ及び電子メールを活用し、当センター主催または関係機関が主催するセミナーの開催情報や国・県・市町村の補助金の公募に関する情報等を随時周知した。

　　また、機関誌「育成センター情報」を計３回発行した。

**（３）特許関連**

　　商標及び意匠に関する調査を行い、相談・指導を行った。

**（４）交流・人材育成関連**

　　○「釜石・大槌企業交流プラザ」の開催

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成25年8月27日（火）15:30～  会　場：ホテルサンルート釜石  参加者：40名  講　演：「復興支援で見えてきた釜石の可能性」  講　師：株式会社経営共創基盤　プリンシパル　柴田亮　氏  情報提供：岩手大学釜石サテライト、  北里大学感染制御研究機構釜石研究所、  岩手県立大学地域連携本部 |
| 第２回 | 日　時：平成26年3月20日（木）15:00～  会　場：三陸花ホテルはまぎく  参加者：40名  講　演：「東海バネの“競争しない！”競争戦略」  講　師：東海バネ工業(株)　代表取締役　渡辺　良機　氏  事例紹介：JST復興促進プログラムによる取組紹介  発表者：JST復興促進センター盛岡事務所  　　　プログラムオフィサー　古澤　眞作　氏 |

**（５）市場開拓支援関連**

　　　「釜石・大槌地域産業フェア」の開催

　　　　　日　時：平成25年11月12日（月）

　　　　　場　所：産業育成センター

　　　　　内　容：釜石・大槌地域企業13社の製品展示、

　　　　　　　　　岩手大学、北里大学、岩手県立大学の研究紹介

　　　　　対　象：釜石高校及び釜石商工の生徒ほか

**（６）復興支援関連**

「中小企業等復旧・復興支援事業補助金（第7次グループ補助金）」申請に係る、グルーピング、申請書作成支援のほか、採択後の変更申請書、概算払請求書等の作成支援、フォローアップを行った。

第7次グループ補助金への申請を支援し採択されたグループ

・海のまちのなりわい再生グループ

（構成企業：カネソウ、岩手塩元売、新華園支店、チェントロ・ローマ、

二合半、藤原鮮魚店、ミントカフェ）

**（７）貸館施設、設備提供事業**

**①会議室等貸出事業**

　　　　従来の大会議室、中会議室の貸出のほか、小会議室を貸事務所、コミュニケーションスペースをシェアードオフィスとして貸出した。

　　　　・小会議室入居企業：有明興業(株)、（一社）さんりく未来推進センター

　　　　・シェアードオフィス利用企業：上閉伊地域復興住宅協議会、

(株)エコテックワールド

**②研究室等貸出事業**

　　　　３大学の他、第2研究開発室を民間企業２社に貸出した。

　　　　・第2研究開発室入居企業：有明興業(株)、(株)バイオ・パワー・ジャパン

**２　高度ものづくり産業推進事業（岩手県、釜石市補助事業）**

当地域におけるコバルト合金をはじめとする特殊合金産業の基盤強化とクラスター化を図るため、研修会や専門家等からの技術指導を通じて、高度ものづくり技術と企業連携による高付加価値加工技術の向上に努めた。

**（１）地域マネジメント強化メニュー**

**①展示会の開催（ビジネスマッチングin釜石）**

　　　釜石地域とこれまで企業間連携を深めてきた県内、県外の各地域の企業を招き、製品展示や製品発表のほか、企業間で情報交換を行った。

**【展示会（企画展）】**

　　　　日　時：平成26年1月4日（土）～2月7日（金）

　　　　会　場：産業育成センター　2階　特設展示場

　　　　出展企業：24社

（釜石・大槌地域）

(有)アール、石村工業(株)、(株)エイワ、(株)釜石電機製作所、

(株)ササキプラスチック、(株)千田精密工業、(株)テツニックス、

同和鍛造(株)釜石事業所、南部屋産業(株)、(株)山岸産業

　　　　（北上地域）

(株)小原建設、(有)ウスイ製作所、(株)市川製作所、(株)鬼柳、

北上精工(株)、(有)北上フレックス

（大阪地域）

(株)レイ・クリエーション、マツダ(株)、日本精機(株)、(株)電子技販、(株)吉武工務店、(株)新日本テック、枚岡合金工具(株)

**【ビジネスマッチングin釜石】**

　　　　日　時：平成26年1月24日（金）

　　　　会　場：釜石ベイシティホテル

　　　　参加者：57名

　　　　講演①：「大阪ケイオスの取組みについて」

講　師：（株）大阪ケイオス　代表取締役　和泉　康夫　氏

講演②：「大阪ケイオス参加企業の事業紹介について」

講　師：㈱新日本テック　代表取締役　和泉　康夫　氏　ほか７名

　　講演③：「北上・奥州地域参加企業・団体の事業紹介について」

講　師：及源鋳造(株)　取締役専務　及川　秀春　氏

　　　　　　　　(有)ウスイ製作所　代表取締役　碓井浩太郎　氏

　　　　　　　　いわてデジタルエンジニア育成センター、北上ﾈｯﾄﾜｰｸ･ﾌｫｰﾗﾑ

**（２）事業主向け雇用拡大支援メニュー**

**①事業主向け研修**

**【ＭＯＴ（技術経営）実践指導】**

　　　　　(株)エイワ及び(株)山岸産業を対象に計4回実施した。

講師は、（一社）日本技術士会経営工学部会。

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成25年10月11日（金）～10月12日（土）  内　容：支援内容等の説明、実態調査 |
| 第２回 | 日　時：平成25年11月13日（水）～11月14日（木）  内　容：課題の抽出と具体的な改善策検討、事業計画策定のための詳細情報入手と分析 |
| 第３回 | 日　時：平成25年12月19日（木）～12月20日（金）  内　容：生産体制改善案、実行計画の整理、生産体制、事業運用体制に関わる支援 |
| 第４回 | 日　時：平成26年3月11日（火）  内　容：生産体制全体構想、今後の実行計画まとめ、中期事業計画、今後の実行計画まとめ |

**【市場動向研修】**

　　(株)エイワを対象に計2回実施した。

講師は、（一社）振興事業創出機構（JEBDA）。

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成25年10月2日（水）  内　容：研修事業者からの事業概要ヒアリング、実態調査 |
| 第２回 | 日　時：平成26年3月26日（火）  内　容：想定される市場と行動（営業）目標の整理、今後の営業戦略の策定 |

**（３）求職者向け人材育成メニュー**

**① 高度ものづくり研修会の開催**

　　　コバルト合金をはじめとする新素材・加工技術に関する研修会を開催した。

**【高精密ピンセット研修会】**

2回開催。講師は、東北大学金属材料研究所　千葉晶彦教授。

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成25年11月15日（金）  会　場：釜石ベイシティホテル  内　容：加工法について㈱エイワに指導  受講者：5名（うち求職者0名） |
| 第２回 | 日　時：平成26年3月13日（木）  会　場：産業育成センター  内　容：研究内容について㈱エイワ、㈱東光舎より報告  受講者：9名（うち求職者0名） |

**【３次元造形技術研究会（体験＆初歩コース）】**

5回開催。講師は、office　CADMS。なお、岩手大学ものづくり釜石サテライトに3次元CADが設置してあることから、それらを活用して開催した。

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成25年10月15日（火）～10月17日（木）  内　容：初歩的なCAD操作について  受講者：6名（うち求職者0名） |
| 第２回 | 日　時：平成25年11月21日（木）～11月22日（金）  内　容：初歩操作からCAD上での部品組み立て操作  受講者：6名（うち求職者0名） |
| 第３回 | 日　時：平成25年11月27日（水）～11月28日（木）  内　容：初歩操作からCAD上での部品組み立て操作  受講者：6名（うち求職者0名） |
| 第４回 | 日　時：平成26年2月14日（金）  内　容：初歩的なCAD操作について  受講者：5（うち求職者1名） |
| 第５回 | 日　時：平成26年2月18日（火）  内　容：初歩的なCAD操作について  受講者：4名（うち求職者1名） |

**【合金加工研究会】**

岩手大学ものづくり釜石サテライトに設置してある3次元測定機、3次元CAD

　　を活用し、計3回実施した。

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成25年10月29日（火）～10月30日（水）  内　容：3次元計測器の体験  講　師：株式会社ミツトヨ　渡邉氏  受講者：18名（うち求職者0名） |
| 第２回 | 日　時：平成26年3月12日（水）  内　容：3D-CADを活用した実習（体験）  講　師：office　CADMS　籠谷氏、小田中氏  受講者：4名（うち求職者2名） |
| 第３回 | 日　時：平成26年3月13日（木）  内　容：3D-CADを活用した実習及び5軸加工機の見学会  講　師：office　CADMS　籠谷氏、小田中氏  受講者：4名（うち求職者20名） |

**【合同成果報告会】**

2回開催。

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成25年11月15日（金）  会　場：釜石ベイシティホテル  事業概要説明  講演①：「当地域におけるコバルト合金事業の歩み」  講　師：東北大学　金属材料研究所　教授　千葉晶彦　氏  講演②：「特殊合金の新規用途開発に向けた試作開発について」  講　師：京セラメディカル(株)  　　　　　研究技術調査部責任者　山脇昇　氏  講演③：「航空機産業のおける難削材加工について」  講　師：三菱マテリアル(株)　加工事業カンパニー  　　　　超硬製品事業部販売企画部　大分義光　氏  講演④：「特殊合金の活用分野とその種別」  講　師：（公財）人いわて産業振興センター  　　　　　　技術経営アドバイザー　杉本榮　氏  研究報告：(株)エイワ、(株)デジアイズ  情報提供：岩手大学ものづくり釜石サテライト  参加者：63名（うち求職者1名） |
| 第２回 | 日　時：平成26年3月13日（木）  会　場：宝来館  講演①：「今年度の取り組みと今後の展望」  講　師：東北大学　金属材料研究所　教授　千葉晶彦　氏  講演②：「航空宇宙産業の現状と参入の可能性について」  講　師：秋田県産業技術総合研究センター主任研究員  東北航空宇宙産業研究会事務局　斉藤耕治　氏  研究報告：(株)エイワ、(株)デジアイズ、(株)東光舎  事業報告： （公財）いわて産業振興センター、  　　　　　（公財）釜石・大槌地域産業育成センター  参加者：27名（うち求職者0名） |

**【航空宇宙産業研修会】**

2回開催。

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成25年11月15日（金）  会　場：釜石ベイシティホテル  講　演：航空宇宙産業材料における加工法について  講　師：三菱マテリアル(株)  加工事業ｶﾝﾊﾟﾆｰ超硬製品事業部販売企画部　大分　義光　氏  参加者：5名（うち求職者0名） |
| 第２回 | 日　時：平成26年3月13日（木）  会　場：宝来館  講　演：航空宇宙産業の現状と参入の可能性について  講　師：秋田県産業技術センター  主任研究員　斉藤　耕治　氏  参加者：8名（うち求職者0名） |

**【医療・福祉ロボット開発研修会】**

2回開催。

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成26年2月13日（木）  会　場：産業育成センター  講　演：福祉ﾛﾎﾞｯﾄ産業の現状と参入の可能性について  講　師：岩手大学工学部　准教授　三好　扶　氏  参加者：20名（うち求職者0名） |
| 第２回 | 日　時：平成26年3月13日（木）  会　場：産業育成センター  内　容：福祉ロボット産業参入のための勉強会  参加者：10名（うち求職者0名） |

**３　海商工連携（6次産業化）推進事業（釜石市補助事業）**

東日本大震災により失った顧客の回復のほか、新市場の開拓・量産体制の早期確立など復旧・復興に向けた課題が挙げられている中、６次産業化という枠組みを用いて、当地域の基幹産業である水産業及び関連産業の基盤強化を図るべく事業を展開した。

**（１）築地東北復興支援協議会や販売出口を持った企業・団体との情報交換会の開催**

築地東北復興支援協議会や沼津法人会等を通じ幅広い出口を持ったバイヤー等との情報交換会を開催し、震災により失った販路の回復や拡大に向けた支援を実施した。

**①情報交換会**

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成25年5月11日（土）  会　場：産業育成センター  講　師：東北復興支援協議会  　　　　　会長　山田　孝之　氏  　　　　　理事長　前田　紀彬　氏  内　容：築地復興支援協議会との販路相談勉強会  参加者：12名 |
| 第２回 | 日　時：平成25年7月6日（土）  会　場：産業育成センター  内　容：事業内容及び実施スケジュールについて意見交換  参加者：8名 |
| 第３回 | 日　時：平成26年2月17日（月）  会　場：産業育成センター  講演①：「バイヤーから見た三陸水産業  ～三陸の特性を強みに変える～」  講　師：（ 一社）流通問題研究所　理事  合同会社廣龍代表　佐竹嘉廣　氏  講演②：「東北復興支援協議会の活動状況および販路提案について」  講　師：東北復興支援協議会　　事務局長　　山下精一　氏  取組状況説明：釜石水産復興活性化グループ（任意団体）  参加者：18名 |

**②その他（読売センター保土ヶ谷による販売支援説明会）**

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成25年7月12日（金）  会　場：産業育成センター  内　容：読売センターによる販売支援の説明  　　　　　読売センター保土ヶ谷　所長　大町氏  参加者：10名 |
| 第２回 | 日　時：平成25年8月6日（火）  会　場：産業育成センター  内　容：出品内容確認  　　　　　読売センター保土ヶ谷　所長　大町氏  参加者：10名 |
| 第３回 | 日　時：平成25年11月19日（火）  会　場：産業育成センター  内　容：H25.9広告掲載の販売数の報告  　　　　　読売センター保土ヶ谷　所長　大町氏  参加者：7名 |
| 第４回 | 日　時：平成25年12月12日（木）  会　場：釜石市役所　第６会議室  内　容：読売センターによる販売支援の説明  　　　　　読売センター保土ヶ谷　所長　大町氏ほか３名  参加者：14名 |

**（２）新商品開発**

情報交換会等により連携を持った地域、機関及びバイヤー等の協力を得て、出口を見据えた商品開発を行った。

**①前浜産水産物を活用した商品開発**

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成26年2月17日（月）  会　場：産業育成センター  内　容：釜石水産復興活性化グループの持つ課題解決に向けた相談  講　師：一般社団法人流通問題研究所　理事  合同会社廣龍代表　佐竹嘉廣　氏  東北復興支援協議会  　　　　　　事務局長　　山下精一　氏、川口浩氏  参加者：18名 |

**②釜石はまゆりプロジェクト**（北里大学感染制御研究機構釜石研究所、独立行政法人製品評価技術基盤機構、釜石市との連携プロジェクト）

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成25年11月26日（火）  会　場：釜石ベイシティホテル  講演①：石割桜酵母を利用した地産地消パン開発について  講　師：山田湾ベーカリー　店長　堂田祐輔氏  講演②：釜石はまゆりプロジェクトの取組報告  講　師：北里大学感染制御研究機構釜石研究所  　　　　研究員　猪又幸江氏  講演③：はまゆり酵母を使ったパン試作品のご披露  講　師：ベーカリー銀河夢　代表　高屋幹夫氏  講演④：はまゆり酵母の利用スキームについて  講　師：独立行政法人製品評価技術基盤機構  　　　　専門官　高橋幹男氏  講演⑤：経済産業省の支援制度紹介  講　師：東北経済産業局地域経済部産業支援課  　　　　課長補佐　高橋邦夫氏  参加者：50名 |
| 第2回 | 日　時：平成25年12月5日（木）  会　場：産業育成センター  内　容：進捗報告、今後の方針、開発スケジュール  参加者：6名 |

**（３）勉強会等の開催**

地域水産加工業者を中心とした食に携わる事業者が持つ既存の商材強化及び地域食材を活用した新商品開発のための勉強会を行い、新たなビジネスチャンスにつなげた。

**①水産物等の商品強化勉強会**

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成26年1月28日（火）  会　場：産業育成センター  講　演：水産物等の商品化について（市場動向勉強会）  講　師：岩手県産業創造アドバイザー  株式会社エムシーアール　代表　大滝　克美　氏  ワークショップ「商品企画シート」  参加者：16名 |
| 第２回 | 日　時：平成26年2月24日（月）  会　場：産業育成センター  講　演：  講　師：岩手県産業創造アドバイザー  　　　　　株式会社ｵﾌｨｽﾊﾙ　有限会社コ・ハル  　　　　　　後藤　晴彦　氏  試　作：「釜石食材の商品企画レシピ」  講　師：ロレ・オール　　オーナーシェフ　　伊藤　勝康　氏  講　演：「実践的ネットワーク戦略づくり」  講　師：岩手県産業創造アドバイザー  　　　　株式会社エムシーアール　大滝　克美　氏  参加者：16名 |
| 第３回 | 日　時：平成26年3月24日（月）  会　場：宝来館  内　容：見える化シートより参加者紹介（商材等）  試食、試作「地域食材の商品企画レシピ」  　　　　　ロレ・オール　オーナーシェフ　伊藤　勝康　氏  　　　　　安比グランドヴィラ３　料理長　佐々木　博之　氏  　　　　実践的ﾈｯﾄﾜｰｸ戦略づくり  　　　　　岩手県産業創造アドバイザー  　　　　　　大滝　克美　氏、後藤　晴彦　氏  参加者：37名 |

**②展示会出展支援**

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 「ファームエイド銀座」出展  日　時：平成25年12月1日（日）  会　場：紙パルプ会館  出展企業：ど真ん中・おおつち（協） |

**４　釜石・大槌地域産業育成センター再生事業**

コミュニケーションスペースを“シェアードオフィス”化したほか、第2研究開発室を二分化するための壁設置工事を行った。

**５　かまいしキッチンカープロジェクト事業**

震災で被災した飲食店事業者の再起のきっかけとすると共に、新たな事業を創出することで、雇用の場の確保及び地域の活性化を図ることを目的として実施した。

　また、自立化に向けた協議を進めてきたが、解決すべき課題が多く結論を得られなかったため、継続協議して行くことにした。

【実施内容】

　当センターが事務局となり、プロジェクトを管理・運営するための委員会を開催した他、新規事業者を選定するための選定員会を開催。

　また、新たな取り組みとして、新しい営業拠点のウッドデッキスペース“大町ほほえむスクエア”を建設したほか、他地域団体との共同プロジェクトを実施するなど、相乗効果により大幅な集客増加が図られた。

　・運営委員会の開催：４回

　・新規事業者選定員会の開催：１回

　・事業者連絡会の開催：24回

　・地域内外イベントへの出店：70回

　・独自イベントの開催：６回

　・新規事業者加入：１事業者（ＢＥＣＫ）

　・卒業事業者：２事業者（もっきり屋ずん、UP＆DOWN DAY）

【２６年３月末現在の事業者】

|  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- |
|  | 事業者名 | 営業形態 | 主な営業場所 |
| 1 | 居酒屋　乾杯 | 昼・夜営業、イベント出店 | 大町ほほえむスクエア |
| 2 | よつばや | 昼・夜営業、イベント出店 | 大町ほほえむスクエア |
| 3 | むすびや | 昼・夜営業、イベント出店 | 産直ミッキーファーム |
| 4 | ハピスコーヒー | 昼・夜営業、イベント出店 | 大町ほほえむスクエア |
| 5 | バラたこ | 昼・夜営業、イベント出店 | 大町ほほえむスクエア |
| 6 | あったかや | 昼・夜営業、イベント出店 | 大町ほほえむスクエア |
| 7 | BECK | 昼・夜営業 | 大町ほほえむスクエア |
| 8 | Lollipop ※ | 昼・夜営業 | 大町ほほえむスクエア |
| 9 | 天使の森 ※ | 昼・夜営業 | 大船渡市復興屋台村付近 |
| 10 | 鉄板焼きトシちゃん　※ | 昼・夜営業、イベント出店 | 山田町びはんストア付近 |

※富士宮市地域力再生総合研究機構と(株)釜石プラットフォームと共同でキッチンカー３台を借り上げ、「富士宮やきそば」をメインとした営業を行った（釜石市１台、大船渡市１台、山田町１台）。

【各種表彰・受賞など】

・「地域再生大賞」優秀賞：全国の地方紙と共同通信社が選ぶ地域活性化に取り組む団体を表彰する制度

・「2013 グッドデザイン賞」：毎年行われているのデザイン性を表彰する制度で大町ＨＳＱが受賞

・岩手県教育委員会発行「いわての復興教育」プログラム（小学校教育副読本）に掲載

**６　カタールフレンド基金プロジェクト事業**

釜石ヒカリフーズ株式会社が実施している、「唐丹産海産物を鮮度そのままに全国にお届けする6次産業化プロジェクト」について、太陽光パネルと排水処理施設を設置（無償貸与）した。

**７　釜石型ものづくり新事業創出モデル調査事業（復興庁委託事業）**

古くから日本の近代製鉄・ものづくりを支えてきた当地域において、市民にまでオープンな製品開発プロセスを確立し、着実に新規事業を生み続ける体制を整え、変化の激しい時代でも常に競争力のあるものづくり産業の維持を目指すべく取り組んだ。

**（１）コバルト合金研究会**

　　　コバルト合金の製品開発で構築した地域ネットワークを活用し、新たなテーマ探索のための勉強会を実施した。

　　　また、宝剣“輝の御剣”を製品化したほか、コバルト合金を鋳造し、及源鋳造(株)（奥州市）の鋳型を利用して南部鉄器を試作した。

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成25年11月19（水）  場　所：産業育成センター  内　容：CCM合金の応用開発として、「宝剣」を選定。コンセプトは置物に決定。CCMの加工性確認のため試作実施。販売の可能性について協議。  参加者：15名 |
| 第２回 | 日　時：平成25年12月12日（木）  場　所：産業育成センター  内　容：釜石に縁のある人を顧客ターゲットとし、初期デザインの修正と加工案について協議。商品企画、販売、全体管理をグループ制による役割分担にすることを決定。  参加者：14名 |
| 第３回 | 日　時：平成25年12月26日（水）  場　所：北上さくらホール  内　容：製品ストーリー、コンセプト、第3デザイン案を協議。光造形によるサンプル作製。顧客ターゲット、販売方法について協議。  参加者：18名 |
| 第４回 | 日　時：平成26年1月17日（金）  場　所：産業育成センター  内　容：加工方案、小冊子、販売戦略について協議。パッケージデザイン決定。新たなテーマとして「林業機械」について協議。研究会のより良い運営方法について協議。  参加者：20名 |
| 第５回 | 日　時：平成26年2月13日（木）  場　所：産業育成センター  内　容：最終デザイン決定、小冊子内容について協議。加工方案について協議。  参加者：15名 |
| 第６回 | 日　時：平成26年2月27日（木）  会　場：産業育成センター  内　容：試作品の確認と加工方法についての最終確認。表面研磨方法について確認。 宝剣の尾崎神社への奉納を決定。それまでの最終スケジュール確認。パッケージ本体及びロゴの刻印の最終確認。  参加者：18名 |
| 第７回 | 日　時：平成26年3月11日（火）  会　場：産業育成センター  内　容：地域内のものづくり企業の連携の成果である「輝の御剣」を総鎮守である尾崎神社に奉納。販売戦略とプロモーション、価格戦略の検討。取組みの成果を考えるチャネルへ広範囲的周知。新たなテーマの探索と研究会のクオリティについて協議。  参加者：14名 |

**（２）林業機械の試作及び実証試験**

　　　石村工業(株)と釜石地方森林組合へのヒアリングを重ね、森林組合の抱える課題を掘り起しした。そして枝条圧縮機が新規性及び波及性に富んでいると判断し、それを試作し、実証試験を行った。

**（３）フューチャーセッションの開催**

　　　全5回のセッションを通じて、ものづくり・まちづくりのテーマが提起され、これらの実現に貢献する製品アイデアを得た。

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 日　時：平成26年1月16日（木）　18:30～21:30  場　所：産業育成センター  内　容：当地域のありたい姿を「まち紹介カード」という形で表現した。  参加者：44名 |
| 第２回 | 日　時：平成26年2月4日（火）　18:00～21:00  場　所：産業育成センター  内　容：参加者の取り組みたいテーマが提起された。  参加者：27名 |
| 第３回 | 日　時：平成26年2月18日（火）　18:30～21:30  場　所：産業育成センター  内　容：テーマを具体化した。  参加者：18名 |
| 第４回 | 日　時：平成26年3月4日（火）　18:30～21:30  場　所：産業育成センター  内　容：テーマのプロトタイピングを行った。  参加者：25名 |
| 第５回 | 日　時：平成26年3月18日（火）　18:30～21:30  場　所：産業育成センター  内　容：テーマの計画を策定した。  参加者：22名 |

**【製品アイデア】**

　　　アクセサリーや身につける小物・地域通貨を鉄でつくる、組木ができる板、花瓶・封筒、臼を水車で廻す、畑の監視を無人ヘリコプターで24時間自動監視する、ヒノキ造りの和風呂、電気エネルギーを蓄積する方法、釜石の染料

**（４）ファブラボの開催**

　　　ファブラボ既存グループ（Shibuya等）や岩手大学の支援により、『Kids Fab』（小学生低学年以下向けのファブラボ）、『オトナの工作教室』（大人版ファブラボ）を開催した。

|  |  |
| --- | --- |
| 第１回 | 『Kids Fab』  日　時：平成25年12月15日（日）　9:00～16:00  場　所：産業育成センター  内　容：ペーパーカッター、レーザーカッターを使用して工作。  参加者：　名 |
| 第２回 | 『オトナの工作教室』  日　時：平成26年2月23日（日）　10:00～16:30  場　所：産業育成センター  内　容：3Dプリンターを題材に、身近な家族や友人に喜んでいただけるようなものづくりの探求。 ペットボトルキャップづくり。  参加者：　名 |

**（５）ものづくりのクラウドソーシング（ＳＮＳ）での製品開発**

　　　新製品研究会での製品開発をするうえで弱点とされてきた商品企画を補うために、ものづくりクラウドソーシングサービスを提案するＷＥＭＡＫＥを利用し、製品アイデアコンペを開催した。

**８　産業復興企業マッチング調査事業（大槌町委託事業）**

企業立地活動に必要な情報の取得や諸整備を行い、大槌町への企業立地活動を実施した。

**（１）企業マッチング調査**

　　　大槌町の行う企業立地活動を効率的・効果的なものとするため、調査対象企業500社を抽出し、その企業のデータベースを作成するとともに、電話による意向調査を行った。また必要な企業マッチング情報や企業信用情報の取得を行った。

　　（本調査は、(株)東京商工リサーチ盛岡支店に委託により実施。）

**（２）企業立地に係る同行訪問・助言**

大槌町の行う企業訪問活動に同行し、企業立地についての助言をした。

**（３）企業立地パンフレットの作成**

　大槌町の企業立地パンフレットを作成した。

**９　工業品等ビジネスマッチング支援事業（※管理法人：(株)北上ｵﾌｨｽﾌﾟﾗｻﾞ）**

(株)北上オフィスプラザとの連携により、ビジネスマッチングフェアを大阪で開催したほか、中小企業総合展等に当地域のものづくり企業の製品を出展し、販路開拓及びマッチングを図った。

**（１）岩手・大阪復興支援交流ビジネスマッチングフェアの開催**

　　　MOBIOものづくりビジネスセンター大阪（東大阪市）において、次の事業を実施した。

**①常設展示場への展示**

　　　　日　時：平成25年8月1日（月）～平成26年2月28日（金）（7か月間）

場　所：MOBIO常設展示場

　　　　出展企業:８社（(有)アール、石村工業(株)、(株)エイワ、

(株)釜石電機製作所、(株)テツニックス、(有)山岸産業、

(株)及源鋳造（奥州市）、(株)佐々木印刷（北上市））

**②岩手・福島・大阪復興支援交流企画展**

　　　　日　時：平成25年9月10日（火）～平成25年10月9日（木）

場　所：MOBIO常設展示場

　　　　出展企業:15社（上記①の企業のほか、(株)ササキプラスチック、

(株)三陸技研、(株)千田精密工業、同和鍛造(株)釜石事業所、

(株)プラネックス、南部屋産業(株)、(株)モディー（一関市））

期間中来場者：1,593名（MOBIO調べ）

**③プレゼンテーション・交流会**

　　　　日　時：平成25年9月11日（水）　10：00～19：30

場　所：MOBIO

内　容：出展企業のプレゼンテーション、製品説明、製品デモ、交流会

参加者：大阪圏企業等参加者　58名

**（１）の事業効果：**

　　　　　商談件数：112件（うち、商談成立件数：25件）、

　　　　　商談成約総額：6,372,000円、商談継続：5件

**（２）中小企業総合展（東京会場）への出展**

　　　　東京ビッグサイトで開催された中小企業総合展に「岩手・大阪復興支援交流ブース」を開設して合同出展し、復興への取り組みをアピールするとともに、首都圏での新たな販路拡大を目指した。

　　　　日　時：平成25年10月30日（水）～平成25年11月1日（金）　3日間

　　　　場　所：東京ビッグサイト（東京都）

　　　　出展企業：17社（大阪2社含む）

**事業効果：**

商談件数：365件（うち、商談成立件数：63件）、

　　　　　商談成約総額：31,126,000円

　　　　　商談継続：16件

**10　会　議　関　係**

**（１）理事会の開催**　　　　３回（定例２回、臨時１回）

**（２）評議員会の開催**　　　１回（定例）

**（３）監事会の開催**　　　　１回

**11　一般管理事業**

・センターの運営、会館の管理

・賛助会員入会の案内、勧誘

・会館施設利用のＰＲ